

地方創生関連交付金事業(令和2年度実施事業)実施結果報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

栃木県野木町

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値 (対前年度指標値)	目標年月	実績値 (対前年度実績値)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	のぎまち地域の賑わい再生事業 ～「ひと・おかね・しごと」好循環創 出プロジェクト～	地方創生推進 交付金	8,039,157	「煉瓦窯・遊水地エリ ア」及び「ひまわりフェス ティバル」来館・来場者 数	120,783人 (12,000人増)	令和3年3月	12,932人 (95,851人減)	地方創生に相当 程度効果があっ た	総合戦略 のKPI達成 に有効であ った	(主な意見) ・コロナ禍の影響があり、今 後各事業の実施・継続に粘り 強く向き合っていくことが大 切。ボランティア人数養成人 数の増加は意義ありと評価で きる。 ・本事業はafterコロナ、withコ ロナを見越した手立てを今か ら検討し、可能などころ、可能 なことから実施していく必要 があると考ええる。また、今後ど うようになっていくのか不確 かであるため、トライ・アンド・ エラーというスタンスを基本に 社会実験的に可能性を探っ ていくのがよいのではないかと 考える。	事業の継続	本年度は新型コロナウイルス 感染拡大防止のため人流の抑制を最優 先したことに伴い、イベ ントの中止や公共施設 の休館により目標値を 大きく下回る結果とな った。長期化が予想され るコロナ禍においても、 賑わいを創出するため に効果的な事業展開を 検討し、目標値の達成 だけに囚われず、施策 効果の向上が図れるよ う努めていく。
				ご当地グルメ「のぎめし」販売数	2,861食 (1,000食増)	令和3年3月	4,074食 (2,213食増)					
				レンタサイクル利用者数	1,370台 (100台増)	令和3年3月	964台 (306台減)					
				ボランティア人材養成人 数(地域資源ガイド(コン シェルジュ)、煉瓦窯保 全、遊水地ガイド、英語ガ イド)	56人 (10人増)	令和3年3月	51人 (5人増)					
2	子育て・介護・福祉・健康づくり等総 合的相談窓口設置事業	地方創生拠点 整備交付金	76,118,400	15歳から49歳の転出者数の減	50人減 (1,460人)	令和3年3月	700人減 (810人)	地方創生に効果 があった	総合戦略 のKPI達成 に有効であ った	(主な意見) ・総合的相談窓口の設置され たことは、野木町が「誰一人 取り残さない」という施策に積 極的であるということアピー ルする点からも極めて 重要な取組である。 ・社会増減について年代別か つ流入の対象地域を想定 した詳細なデータ分析をした 上で、本件については検討し ていく必要がある。	事業の継続	現在の新型コロナの感 染状況を鑑みると今後 も施設への大人数の集 客は当面困難である が、コロナ禍により町民 の相談事由が増えるこ などを想定し、町民に 必要とされる「子育て・ 介護・福祉・健康づくり 等総合的相談窓口」と して、引き続き、きめ細 やかな相談受付や支援 等をおこなっていく。
				健康な高齢者の割合	86.1% (1.0%増)	令和3年3月	85.1% (±0)					
				健康づくり教室の参加者数	1,067人 (500人増)	令和3年3月	138人 (429人減)					